

ご使用になる前に必ずお読みください

同梱のベースフレーム取付説明書、レカロシート取扱説明書（シートご購入時付属品）を一緒にご覧ください。

販売店さまへ 本書は必ずお客様にお渡しください。

レカロシート取付説明書

GW2001-2602001

メーカー	車種	年式	型式	部品番号
GWM	TANK 300	2021/4 ～	-	9076.001.1 9076.001.2

品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町 1570-1

レカロコール ☎ 0800-919-5881 受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00

営業日 土日、祝日、弊社休業日を除く平日 ※IP 電話以外よりお掛けください。



構成部品

ベースフレーム構成部品			数量	備考
①	ベースフレーム本体		2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
②	スライドレール		2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
③	スライドレバー		1	スライドレールに取り付け
④	キャップボルト	M8 x 25mm	4	※使用するボルトは、取り付けシートや使用スペーサー枚数によって異なります。
⑤	キャップボルト	M8 x 20mm	4	
⑥	キャップボルト	M8 x 28mm	4	
⑦	キャップボルト	M8 x 40mm	4	
⑧	キャップボルト	M6 x 30mm	6	
⑨	キャップボルト	M5 x 12mm	4	クロスメンバーとベースフレーム本体の取り付けに使用
⑩	皿バネワッシャー	M8	4	ベースフレーム本体とスライドレールの取り付けに使用
⑪	ロックワッシャー	M8	4	シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑫	スプリングワッシャー	M6	6	シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑬	平ワッシャー	外径32mm	3	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑭	平ワッシャー	外径24mm	4	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑮	スペーサー	6mm	6	シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑯	スペーサー	7mm	8	シート本体とスライドレールの取り付けに使用
⑰	クロスメンバー		1	ベースフレーム本体の取り付けに使用
⑱	クロスメンバー用スペーサー		2	クロスメンバーとベースフレーム本体の取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用部品	数量	備考
⑳ UNFナット	1	シートベルトバックルの取り付けに使用
㉑ 平ワッシャー	外径24mm	
㉒ 歯付ワッシャー		

その他の構成部品		数量	備考	
㊸	エッジプロテクター	210 x 150	1	ベースフレームエッジ部分の保護に使用
㊹	エアバッグキャンセラー		1	エアバッグ消灯作業に使用(赤色カプラー x 2含む)

作業前に準備しておくこと

必要工具などについて

- ◎基礎工具類 …………… スパナ、レンチ、六角レンチ、プライヤー、ペンチなど
- ◎本製品に必要なとなる特殊工具 …… トルクスレンチ：T50
- ◎配線処理部材 …………… 結束バンド、絶縁テープなど
- ◎保護具 …………… 作業時は、長袖や手袋などの保護具を着用してください
- ◎保護カバー …… シート脱着時に車両を傷つけないよう、毛布などでカバーしてください

構成部品



作業手順

1

バッテリーのマイナス端子を外して放電させる
※すべての電気経路がリセットされますので、再設定が必要です。
※BMWやAUDIなど、一部の輸入車においてバッテリーの端子を外すことを推奨しない車両もございます。同梱の車種別取付説明書をご確認ください。

⚠ 禁止

濡れた手で作業しないでください。
感電の恐れがあります。

2

純正シートを固定しているボルトや配線を取り外す

⚠ 厳守

作業にあった工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。
作業時は、長袖や手袋などの保護具をご使用ください。
素肌が露出した状態で作業すると、金属部分のエッジなどと接触し、けがをす
る恐れがあります。

3

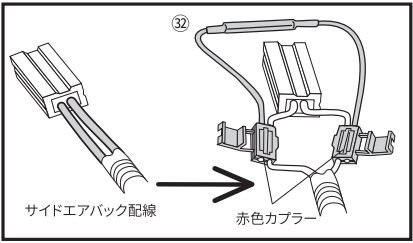
純正シートを車外に取り出す

⚠ 厳守

作業時は車両を傷つけないよう保護カバーをご使用ください。
レカロシートの取り付けが完了するまで保護カバーをつけたままにしておいて
ください。

4

サイドエアバッグ警告灯の消灯作業
車両フロア側サイドエアバッグの配線と付属のエアバッグキャンセラー③②
を赤色カプラーにそれぞれ挟み込むようにして短絡させ、フロア側からの
信号が付属のエアバッグキャンセラー③②を通るようにします。



サイドエアバッグ配線

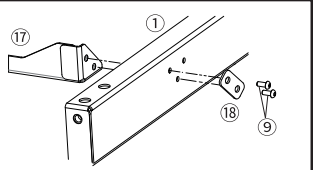
赤色カプラー

⚠ 注意

誤ってエアバッグ警告灯が点灯した場合
には、自動車ディーラーでの消灯作業が
必要となります。

7

ベースフレーム本体とクロスメンバーを取り付ける
締め付けトルク：M5 5.4±1Nm



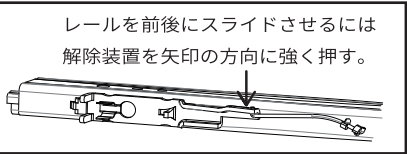
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルト
の破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となり
ます。

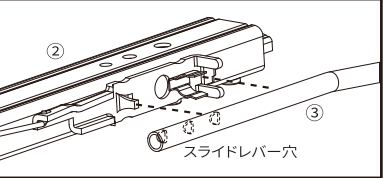
8

スライドレールをシートに固定し、スライドレバーを取り付ける
※スペーサーの使用枚数は、装着シートにより異なりますのでベースフレーム
取扱説明書「ベースフレームとシートの組み付け方」をご参照ください。



レールを前後にスライドさせるには
解除装置を矢印の方向に強く押す。

締め付けトルク
M6 9.2±1Nm / M8 24±2Nm



② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

スライドレバー穴

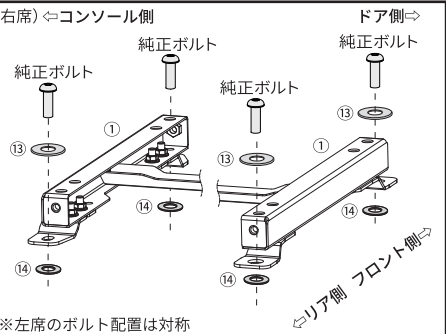
⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてく
ださい。
適正なトルクで締め付けができていな
いと、ボルトの破断や緩みが発生し、
重大な事故の原因となります。

※固くはまりにくい場合は、プラスチックハン
マーなどを使用してください。

9

ベースフレーム本体を車内に入れ、フロアに固定する
純正ボルトと付属部品を使用して固定します。



(右席) ⇄ コンソール側

純正ボルト

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ドア側⇨

純正ボルト

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⇨リア側 フロント側⇨

※左席のボルト配置は対称

締め付けトルク：純正ボルトの締め付け
トルク値は、車の整備書を参照し、適正な
トルク値を確認して締め付けください。

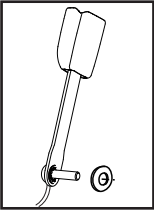
⚠ 厳守

適正な締め付けトルクで締め付けてく
ださい。
適正なトルクで締め付けができていな
いと、ボルトの破断や緩みが発生し、
重大な事故の原因となります。

※フロアカーペットを挟み込む場合は、該当箇所のカーペットをはさみで切ってください。

5

シートベルトアンカーを取り外す
純正シートに装備されているベルトバックル等、アンカーを取り外しま
す。アンカーとつながっているコネクターもカプラーから取り外します。



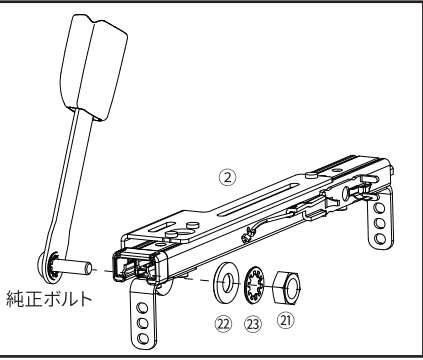
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⚠ 厳守

作業にあった正しい工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけがで
きず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

6

シートベルトバックルをスライドレールに取り付ける
取り外したシートベルトバックルを、純正ボルト、付属品を使用してスライド
レール②のアンカーブラケットに、取り付けます。



純正ボルト

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

締め付けトルク：純正ボルトの締め付け
トルク値は、車の整備書を参照し、適正な
トルク値を確認して締め付けください。

⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてく
ださい。
適正なトルクで締め付けができていな
いと、ボルトの破断や緩みが発生し、
重大な事故の原因となります。

10

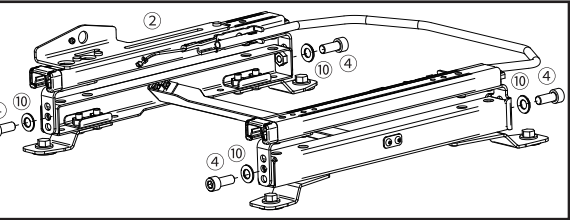
シートを車内に入れ、シートベルトバックル等の各種配線をつなぐ
※レールに配線が噛みこまないよう、結束バンドなどで束ね、固定してください。

⚠ 注意

配線がむき出しのエッジ部で損傷し火災や事故の原因となります。
付属のエッジプロテクターで保護してください。

11

レッグランナーを本締める
締め付けトルク：M8 24±2Nm



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

※ベースフレーム取扱説明書
「正しいシートの座り方」を参
考に正しいポジションがとれ
るよう、任意の位置で取り付
けてください。

⚠ 厳守

レールを前後端までスライドさせ、手順 10 でつないだ各種配線につっぱりや緩
み、噛みこみが無いことを確認してください。
正しく取り付けできていないと、ハーネスが断線し火災や思わぬ事故の原因と
なります。再調整の際も同様に確認をしてください。
記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重
大な事故の原因となります。

12

エッジプロテクターを貼る
ベースフレームのエッジ部、フロア固定ボルトとカーペットの隙間を隠す
ように貼り付けてください。

⚠ 注意

むき出しのエッジ部にぶつかると思わぬ怪我につながる恐れがあります。
付属のエッジプロテクターでエッジ部を保護してください。

13

バッテリーのマイナス端子を接続する
イグニションスイッチをONにし、エアバッグ警告灯が消灯し、シートベルト
のリマインダーが正常に作動することを確認してください。